

I 管理機関の取組

1. 運営組織づくり

カリキュラム開発拠点校	岡山操山中学校・高等学校
事業連携校	岡山一宮高等学校
	岡山城東高等学校
	岡山工業高等学校
	倉敷天城中学校・高等学校
	倉敷中央高等学校
	玉島高等学校
	津山中学校・高等学校
	和気閑谷高等学校
	岡山大安寺中等教育学校
	Sacred Heart College 高校（オーストラリア）
事業協働機関	岡山大学
	岡山県立大学
	岡山県経済団体連絡協議会
	ベネッセコーポレーション
	JETRO岡山
	JICA中国
	AMDA
	岡山県
	岡山市

「社会への多様性への理解の促進」「課題研究の充実」「高度な学びの推進」を実践するため、カリキュラム開発拠点校、事業連携校、事業協働機関と連携し、ALネットワークを構築した。拠点校と連携校間との連携については、管理機関担当者と各校の担当者による「ALネットワーク連絡会議」を設置し、具体的な連携事業を進めていった。10校の担当で頻りに会議を行うことは難しいため、通常はALネットワークのGoogle Classroomで情報を適宜共有しながら、連携を進めた。

各事業協働機関には、年度当初に管理機関の担当で訪問を行い、事業の年間の見通しや、連携を依頼する内容等について説明し、協力を求めた。

2. 運営指導委員会

氏名	属性/所属	主な役割
ウィリアムズ ジェイソン	大学関係者/ ノートルダム清心女子大学准教授	グローバル人材育成に関する知見 国際交流や高度な英語力の育成に関する指導助言
神崎 浩二	産業界関係者/岡山県経済団体連絡協議会事務局長	産業界が高等学校に求める教育の在り方に関する知見、学校と企業との連携に関する指導助言
林 俊克	大学関係者/就実大学教授	データサイエンスに関する知見 探究学習の手法に関する指導助言
福本 昌之	大学関係者/広島市立大学教授	教育評価に関する知見 探究学習の手法に関する指導助言
松原 憲治	教育関係者/国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 総括研究官	ESDに関する知見 OECDの視点からの生徒の資質・能力の育成、教科横断的な学習、STEAM教育に関する指導助言

運営指導委員として5名を委嘱し、2回の委員会を実施した。

- 第1回 令和5年8月29日(火) 13:30~16:00 第1回検証委員会と共催
参加者 運営指導委員、検証委員、校長、副校長、教頭、各担当者、管理機関
内容 今年度の事業計画の説明
各委員からの指導助言、拠点校から各委員への質問
- 第2回 令和6年3月19日(火) ※開催予定。第2回検証委員会と共催
参加者 運営指導委員、校長、副校長、教頭、各担当者、管理機関
内容 今年度の取組の説明、3年間の事業成果の検証
次年度以降の自走に向けての取組の課題と展望
各委員からの指導助言

3. 検証委員会

氏名	属性/所属	主な役割
小川 正人	大学関係者/ 環太平洋大学副学長 教授	データ等に基づいたALネットワークの取組の成果等の分析 グローバル人材育成に関する知見

検証委員として1名を委嘱し、年2回の委員会を実施した。

- 第1回 令和5年8月29日(火) 13:30~16:00 第1回運営指導委員会と共催
参加者 運営指導委員、検証委員、校長、副校長、教頭、各担当者、管理機関
内容 今年度の事業計画の説明
各委員からの指導助言、拠点校から各委員への質問
- 第2回 令和6年3月19日(火) ※開催予定。第2回運営指導委員会と共催
参加者 運営指導委員、校長、副校長、教頭、各担当者、管理機関
内容 今年度の取組の説明、3年間の事業成果の検証
次年度以降の自走に向けての取組の課題と展望
各委員からの指導助言

4. ALネットワークの取組

(1) 留学体験報告会(留学促進フェア OKAYAMA2023)

留学体験報告会として、県民生活部国際課と県教委の共催イベント「留学促進フェア OKAYAMA2023」において、令和3年から令和4年にかけて1年間、拠点校からチェコへ留学した生徒が昨年度に引き続き、留学体験を発表した。留学に興味がある、留学を考えている高校生、中学生、その保護者に向け、自らの留学体験やメッセージを送った。

(2) 全国高校生フォーラムへの参加

文部科学省、筑波大学(幹事管理機関)が実施する、全国高校生フォーラムに拠点校、連携校の5校(1校はポスター展示での参加)が参加した。

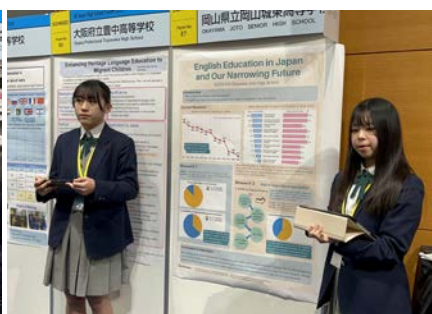
このうち、岡山城東高校の発表が、全国109校の参加校の中から、最も優れた発表を行った1校に贈られる文部科学大臣賞を受賞した。

[全国高校生フォーラム参加校]

岡山操山高校、岡山城東高校、玉島高校、岡山大安寺中等教育学校
倉敷天城高校(ポスター展示での参加)



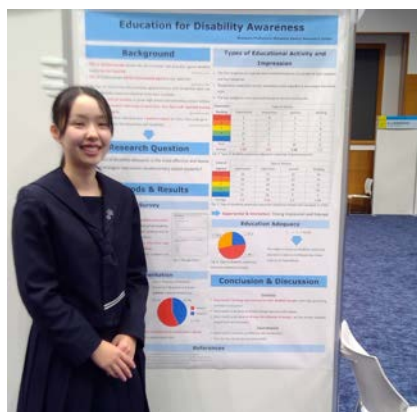
岡山操山



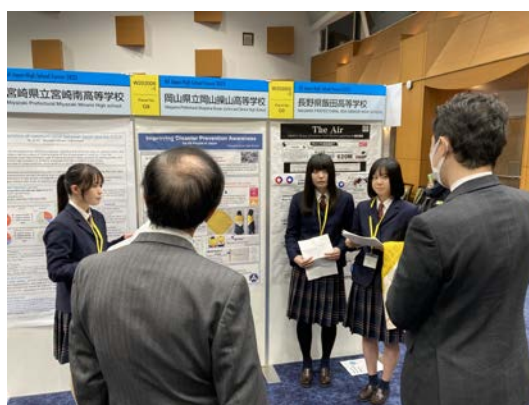
岡山城東



玉島



岡山大安寺



当日の質疑応答の様子

(3) Well-being セミナー

高校生国際会議の事前セミナーとして、JICA、ベネッセ、岡山大学の協力を得て、様々な分野の有識者による講演、ワークショップを行い、多様な視点から「Well-being」についての理解を深め、自分がどうありたいか、どう行動すべきかについて考える「Well-being セミナー」を実施した。高校生国際会議の生徒準備委員会と連動させ、9, 11, 1月に開催した。生徒準備委員会の生徒に加え、広く県立高校の生徒や教職員にも参加を募り、のべ39人の一般参加があった。

目的 「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福であること＝“Well-being”な社会の実現に向けて、高校生が、自分たちがどうあるべきか、何ができるかを考え、行動につなげていくために、国際的に活躍している有識者の講演を聞き、“Well-being”について理解を深める。

[第1回]

日時 令和5年9月24日(日) 10:00～12:00

会場 岡山県立図書館 2階多目的ホール

参加者 ① 準備委員会生徒25名
② ①以外で参加を希望した県立高校生徒5名
③ 教職員1名

日程 10:00～10:05 開会・講師紹介
10:05～11:55 講演・ワークショップ

「“Well-being”って何だろう?～人や地域との関わりから

見えてくるもの～」

講師：独立行政法人国際協力機構

岡山県 JICA デスク国際協力推進員

長谷川 真紀 氏

11：55～12：00 質問、座談会

[第2回]

日時 令和5年11月24日（日） 13：30～16：00

会場 岡山県立図書館 2階多目的ホール

参加者 ① 準備委員会生徒 21名
② ①以外で参加を希望した県立高校生徒 9名
③ 教職員、その他 2名

日程 13：30～13：35 開会・講師紹介

13：35～15：30 講演・ワークショップ

「『気づき』

～自然、人、アート、地域がつむぐ“Well-being”～」

講師：（株）ベネッセホールディングス本社・直島統轄部

間部 俊一 氏

15：30～16：00 リフレクション

[第3回]

日時 令和6年1月20日（土） 13：00～15：30

会場 岡山県立岡山操山高等学校 創立百周年記念館

参加者 ① 準備委員会生徒 23名
② ①以外で参加を希望した県立高校生徒 19名
③ 教職員、その他 3名

日程 13：00～13：05 開会・講師紹介

13：05～15：00 講演・ワークショップ

「グローバル人材から『地球人としての人財』へ」

講師：岡山大学副学長 教授 横井 篤文 氏

15：00～15：30 リフレクション



(4) 高校生国際会議「Summit for “Well-being” in Okayama2024」

本県の事業テーマである「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福であること＝“Well-being”」な社会の実現に向けて、自分たちがどうあるべきか、何ができるかを考え、行動につなげていくために、高校生が考え、互いに対話、議論し、その成果を提言の形にまとめて世界に発信していくことを目的とした高校生国際会議「Summit for “Well-being” in Okayama 2024」を令和6年2月3日に開催した。広く、岡山県の高校生に参加を呼び掛け、県内の高等学校、中等教育学校17校から58名の高校生が参加した。また、台湾の台南市天主教聖功女子高級中学の生徒2名がオンライン参加した。

基調講演は、国連がSDGsを採択した際を中心メンバーである、ブルキナファソのアブゼ・ジグマ王女殿下にお願いした。

ラウンド・テーブルでは、基調講演を受け、参加生徒が11のグループに分かれて自分たちの夢、すなわち「なりたい自分」の実現が、どのような「“Well-being”な社会」につながっていくのかということについて、議論した。11グループのうち、4グループについては、台湾の台南市天主教聖功女子高級中学の生徒2名がオンラインで参加するとともに、岡山大学の留学生3名（中国、ケニア、ガーナ）や本県のALT3名も加わり、英語で議論を行った。

全体協議では、各グループの代表が発表した議論の内容について発表するとともに、コーディネーター役の岡山大学副学長の横井篤文教授と、World Road Inc. CEOの市川太一氏に位置づけていただいた。議論の内容は、今後、「おかやま高校生“Well-being”宣言」としてまとめ、One Young Worldなど、国際的なサミットの場において発信していく予定である。

当日の様子はYouTubeのオンライン配信を行い、県立高校、事業協働機関、運営指導委員、検証委員、全国のWWL管理機関に案内し、公開した。

開催にあたっては、年度初めに、拠点校と連携校の有志生徒30名による生徒準備委員会を発足させ、具体的な国際会議の内容の検討や、役割の分担、“Well-being”についての勉強会等（後述のWell-beingセミナーとして実施）を定期的（6, 9, 11, 1月）に行い、国際会議当日は、全体の進行やラウンド・テーブルのファシリテーター（各グループの議論の進行）を行うなど、運営全般を担った。

目的	岡山県の高校生が、「全ての人が身体的、精神的、社会的に幸福であること＝“Well-being”な社会の実現」に向けて、自分たちがどうあるべきか、何ができるかということについて考え、互いに対話、議論したことをまとめ、世界に向けて発信する。
日時	令和6年2月3日（土） 10:00～16:00
会場	OHK KURUNホール
日程	10:00～10:10 開会行事 10:10～12:10 基調講演 アブゼ・ジグマ王女殿下（ブルキナファソ王女） 12:10～12:40 質疑応答 13:40～15:00 参加生徒によるラウンドテーブル 「夢×Well-being＝地球の未来を変える力」 15:15～15:45 全体協議 「おかやま高校生“Well-being”宣言2024」に向けて

コーディネーター

岡山大学副学長 教授 横井 篤文 先生

World Road Inc. 代表取締役 市川 太一 氏

15：45～16：00 閉会行事



(5) 教員研修会（学力向上プロジェクト合同分析会）

例年、管理機関が実施している、「学力向上プロジェクト合同分析会」において、全県立高等学校から、学力向上の中核を担う教員各1名の参加とともに、生徒の主体的に学びに向かう力を育むための授業改善や教員の仕掛けをテーマとした研究協議を実施するとともに、会の様子を県内高校へオンライン配信を行い、全校の教員研修の機会となるよう公開した。

目的 各校や県内の学力状況を分析し、その結果を踏まえて学習指導の在り方について情報交換を行い、指導改善のための PDCA サイクルの構築及び学習指導の充実を図る。

日時 令和5年10月27日（金）9：30～16：00

会場 岡山県総合教育センター

参加者 県立高等学校・中等教育学校（後期課程）の学力向上の中核を担う教員各校1名

日程 《午前の部》

9：30～9：40 開会行事

9：40～10：00 説明1：本県の学力課題と現状について（高校教育課）

10：00～11：00 説明2：学びの基礎診断について（ベネッセ担当者）

11：25～12：15 協議1：各校の学力課題と学びの基礎診断を活用した授業改善に向けての取組について

《午後の部》

13：15～14：25 説明・情報提供：生徒の「学びに向かう力」を育むために（高校教育課）

14：40～15：50 協議2：生徒が主体的に学習に向かっていくための授業改善の取組について